

令和2年度たがみ台保育園における自己点検及び自己評価の結果

令和 3年 2月実施

実施期間・[令和 3年2月 1日 ~ 2月 28日実施]

評価基準・[A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない]

評価方法・[A:4 B:3 C:2 D:1と換算して平均を出した。]

常勤・非常勤の全職員から提出された自己評価票を園長がまとめた。

	自己評価の観点	評価	意見・改善策
I 保育の計画性	1、園の保育理念・保育方針を理解している。	B	・1.2.3.4の問い合わせにCの回答が昨年より多かったのにびっくりしました。R.2年度は、勉強会が開催できなかつた事も一つ要因である。R.3は、環境に配慮し計画していくべきだ。
	2、保育所保育指針を理解していると思う。	B	
	3、園の全体的計画を理解していると思う。	B	
	4、指導計画の作成 ○指導計画は、保育指針・全体的計画・園児の実態等をもとに作成している。	B	
	5、環境の構成 ○安全で清涼感のある環境構成をしているか。	B	・季節に応じて野菜や花等を育てていたが、室内の環境構成にあまり季節感が感じられなかつたと反省があがりました。
	○園児が自ら活動を展開していくような場や構成をしているか。	B	
	○園児の動線や目線に配慮した環境構成をしている。	B	
	○季節の変化に応じた環境構成をしている。	C	
	6、保育と計画の評価・反省 ○自分の保育と計画の評価と・反省は行うようにしている。	B	・来年度は、少人数で年齢別の公開保育を計画してもらいたい深い評価、反省が持てるよう、各年齢のリーダーに任せていきたい
	○評価反省を次の保育と計画に活かせるように行っている。	B	
	○自分の保育を公開して、それをもとに検討しているか。	C	
II 保育の在り方・園児への対応	1、健康と安全 ○登園時は視診や検温により園児の体調が悪くないか確かめている。	A	・個々のお子様の視診をしっかりと行い、小さな体調の変化にも早めに対応していました。また怪我等の対応にも保護者等の意見も伺い適切な処置ができていた。家からのケガなどにも、細かく対応していました。
	○体調が悪そうなときは静かに寝かせたり検温をしたり適切な処置を行いつぐに家庭に連絡している。	A	
	○園内に危険な個所や物がないか、危険な遊び方はないか観察している。	B	
	○事故や怪我が発生した時は、園長に報告したり保護者に連絡取ったり医者に診てもらうなど適切な処置を行っている。	A	
	2、乳幼児の理解 ○一人ひとりの園児をよく観察するように心がけている。	B	・子ども自らが、主体的に周囲と関わり、考えたり試したり工夫したりしている様子が多く、子どもたちもイキイキと活動していました。また保育士も子どもの想いや考えを引き出そうと、保育材料や環境を整え、子どもたちの声や心に寄り添う姿が見られた。
	○園児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている。	B	
	○園児の理解のために保護者と話し合うことがある。	B	
	3、指導とのかかわり ○園児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、関わり方をしないようにしている。	B	・ただ立ち振る舞い言動など園児のモデルになるはずなのに、C回答は、とても残念である。
	○園児の気持ちに共感しながら一緒に遊んでいる。	B	
	○園児の話をよく聞くようにしている。	B	
	○園児を褒めたり励ましたり、目当てを持たせるような言葉かけをしている。	B	
	○園児の個性や性格、特徴に応じた関わり方をしている。	B	
	○「先生の様にやってみたい」と園児が思う立ち振る舞いを心がけている。	C	

	自己評価の観点	評価	意見・解善策
	4、保育者同士の協力と連携 ○園児について保育者間で話し合い、クラスを超えて情報を共有している。 ○指導上必要な園児については、職員全体で話し合い、共通理解を持ち対応するようにしている。	B B	・職員会議で共通理解が持てるよう配慮しているが、「知らなかつた」「聞いてなかつた」という職員がいるのも事実である。
	1、専門家としての能力・良識・義務 ○園児の性格や個性を把握するように努めている。 ○朝と帰りのあいさつは、明るく元気に親しみをこめている。 ○何かをしてもらつたら感謝の気持ちを言葉等で表している。 ○職務上知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	B B B A	・お互い顔を見て、今日も元気に登園して来てくれて「ありがとう」の気持ちを込めて笑顔で挨拶するよう職員間で意識してきたことで、子どもたちの挨拶も丁寧にお辞儀をするようになりました。 ・園児の内面的な成長を、職員間で喜び合っている姿が多くありました。
III 専門家としての資質（能力・良識・適性等）	2、組織の一員としての在り方 ○子どもの事やクラスの出来事で必要な事は、園長や主任に報告・連絡・相談をしている。 ○職員や園の批判を軽はずみにしていない。	A A	・園児の内面的な成長を、職員間で喜び合っている姿が多くありました。
	3、保育の楽しみ・喜び ○園児のささやかな成長が理解でき、それを喜ぶことができる。	A	・臨床心理士の先生を招いて年6回の勉強会を設けているが、障がい児の学習がCなのは、全職員が参加できなかったと反省があがりました。全員が参加できるように考慮していきたい。
	4、周りを感じ取れる感性 ○保育や子育てに関する情報を絶えず捉えようとしている。	B	
	5、研修と研究 ○研修会には課題を持ち進んで参加している。 ○園の遊具や教材、機材について基本的な使い方を知っている。 ○障がいのある園児に対応する保育のあり方を学習している。	B B C	
	1、情報の発信と受診 ○クラスや子どもの様子、保育ポイントをクラスだより等で知らせている。 ○個々の子どもの様子は、直接話したり連絡帳を使ったりして伝えている。	A B	・コロナ感染予防として、園児の受け入れを玄関で行なっていました。お子様を待つている間に貼っている保育内容の写真をじっくりご覧になっていて、写真を指差しお子様に話しかける姿が多く見られました。
	2、協力と支援 ○保護者からの様々な訴えや意見要望については、安易に受けたり断つたり無視したりしないで園長や主任に報告や相談をしている。	A	・守秘義務は定着している。
	3、守秘義務の尊守 ○保護者の住所・電話番号や個人情報の管理は、園の方針に従っている。	A	・営業の電話が多く対応に困ることも事実です。
	4、対応 ○電話は相手が見えない為に誤解が生じやすいので、手短に簡潔に要領よく対話することを心がけている。	A	・保護者からの相談や苦情も、相手の気持ちになって考え、担任、副主任、主任、園長とともに考え対応していました。
	5、クレームへの対処の仕方 ○保護者からのクレームがあった場合は、謙虚に話を聞き、園長に連絡・報告・相談している。	A	
	○地域の人々と親しく挨拶や会話を交わしている。 ○卒園児の情報を得るよう努めている。又は努めようとしている。 ○子育て支援のあり方について職員全体で話し合っている。 ○地域の行事や祭りに積極的に参加したり、協力したりしている。又機会があれば協力しようと思う。	B C C B	・コロナの状況で地域との関わり、ほとんど中止となりましたが、その中でも工夫をしてパワーポイントを使って子どもたちの様子などを披露して、地域の方にも喜んで頂きました。
V 地域との関わり			